

メディアリリース



IOSCO/MR/25/2022

2022年10月11日

IOSCO「世界投資者週間」が閉幕 世界中で投資者教育と投資者保護に関するキーメッセージを発信

証券監督者国際機構 (IOSCO) は、2022 年 10 月 3 日から 9 日にかけて、第 6 回世界投資者週間 (WIW) を開催した。一部の法域では引き続き 10 月または 11 月に WIW 関連の活動を主催する予定である。

2017 年に第 1 回 WIW が開催されて以降初めて、グローバルなキックオフイベントに加えて、中東アフリカ、欧州、米州において WIW 開催を記念して地域のローンチイベントが開催された。証券規制当局、証券取引所、金融仲介業者、金融業界団体、大学その他の市民社会を代表する組織を含む様々な参加者が、サステナブルファイナンス、暗号資産、投資者のレジリエンス、詐欺・悪徳商法防止に関連するテーマについて、キーメッセージの発信や金融リテラシーの促進を目的として、幅広い活動 (対面・バーチャル・ハイブリッド形式) を実施した。

IOSCO の個人投資家に関する委員会のパスクアーレ・ムナフォ議長 (イタリア CONSOB) は、「金融・投資者教育が世界中で必要とされている。先進・新興市場の投資家のどちらも、金融リテラシーのレベルが向上することによって、十分な情報に基づいた投資判断を行うことができる。実際の投資家また潜在的な投資家は、将来に向けた計画を立てる必要があり、ライフサイクルの様々な局面を通じて財務的に強靱であり続けるための方法を知る必要がある」と述べた。

IOSCO の主要な目的の一つは投資者保護である。この目的を達成するためには、金融・投資者教育を通じたものも含め、様々な方法がある。これに関連して、WIW ワーキンググループのコーディネーターであるジョゼ・バスコ氏(ブラジル CVM)は、「投資者教育と金融リテラシーの必要性が今日ほど高まったことはない。金融市場が進化と革新を続ける中で、投資家が、利用可能な選択肢を評価し、十分な情報に基づいた投資判断を行い、金融詐欺を回避するために、金融エコシステムを十分に理解することが必要とされている。WIW は引き続き、投資者教育と投資者保護に関するキーメッセージを発信し、投資家の学習機会を奨励していく。」と述べた。

WIW のウェブサイト(www.worldinvestorweek.org) では、10 月 3 日から 9 日にかけて既に実施された活動や、今後 10 月または 11 月にかけて一部法域で実施される WIW 関連のイベントについての追加的な情報を提供している。

NOTES TO THE EDITORS については省略。